

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／不動産投信
信 託 期 間	2017年2月28日から2037年2月20日まで
基 本 方 針	この投資信託は、ファンド・オブ・ファンズ方式により、安定した配当収入の確保と中長期的な値上り益の獲得を目指して運用を行います。
投 資 対 象	円建の外国投資信託である UBS・オーストラリアリート・ストラテジーファンド受益証券および国内籍証券投資信託であるカレラ マネープール マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
投 資 態 度	1. 主として外国投資信託受益証券への投資を通じて、実質的にオーストラリアの金融商品取引所に上場している不動産投資信託受益証券(リート)等(以下「オーストラリアリート」といいます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指すとともに、オーストラリアリートのオプション取引ならびに通貨オプション取引の投資成果を享受することを目指して運用を行います。 2. 外国投資信託受益証券への投資割合は、資金動向や市況動向などを勘案して決定するものとし、外国投資信託受益証券の組入比率は原則として高位とすることを基本とします。 3. 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 4. 資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
主 な 投 資 制 限	1. 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 2. 株式への直接投資は行いません。 3. 外貨建資産への直接投資は行いません。 4. 同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 5. デリバティブの直接利用は行いません。 6. 投資信託証券が一般社団法人投資信託協会の規則に定めるエクスポートジャーがリスクスルーでできる場合に該当しないときは、当該投資信託証券への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 7. 一般社団法人資産運用業協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポートジャー、債券等エクスポートジャーおよびデリバティブ取引等エクスポートジャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、一般社団法人資産運用業協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行います。
分 配 方 針	年12回(原則として毎月20日。ただし、休業日の場合は翌営業日。)決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。 ② 委託者が毎決算時に、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、必ず分配を行うものではなく、分配対象額が少額な場合等には分配を行わないことがあります。 ③ 留保益の運用については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

オーストラリアリートファンド

(毎月分配型)

運用報告書(全体版)

第 109 期(決算日：2026 年 3 月 23 日)第 112 期(決算日：2026 年 6 月 22 日)

第 110 期(決算日：2026 年 4 月 20 日)第 113 期(決算日：2026 年 7 月 21 日)

第 111 期(決算日：2026 年 5 月 20 日)第 114 期(決算日：2026 年 8 月 20 日)

受益者のみなさまへ

平素よりご愛顧頂き、厚く御礼申し上げます。

このたび、「オーストラリアリートファンド(毎月分配型)」が、2026 年 8 月 20 日に第 114 期の決算を迎えましたことから、第 109 期から第 114 期までの運用状況につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

カレラアセットマネジメント株式会社

〒107-6012 東京都港区赤坂一丁目 12 番 32 号
アーク森ビル 12 階

<https://www.carrera-am.co.jp/>
お問い合わせ先：管理部
電話番号：03-6691-2017
受付時間：営業日の午前 9 時から午後 5 時

◆最近 5 作成期の運用実績

決 算 期		基 準 価 額			参 考 指 数		債 券 組入比率	投資信託証券 組入比率	純 資 産
		(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	ASX200 REIT 指数 (円換算指数)	期 中 騰落率			
第 15 作 成 期		円	円	%		%	%	%	百万円
	85 期(2024 年 3 月 21 日)	4,930	60	3.1	162,918	6.4	—	97.3	2,275
	86 期(2024 年 4 月 22 日)	4,621	30	△ 5.7	156,511	△ 3.9	—	95.2	2,131
	87 期(2024 年 5 月 20 日)	4,892	25	6.4	174,578	11.5	—	96.1	2,257
	88 期(2024 年 6 月 20 日)	4,814	30	△ 1.0	175,093	0.3	—	96.8	2,221
	89 期(2024 年 7 月 22 日)	4,998	25	4.3	182,667	4.3	—	95.1	2,313
第 16 作 成 期	90 期(2024 年 8 月 20 日)	4,754	20	△ 4.5	168,489	△ 7.8	—	95.4	2,200
	91 期(2024 年 9 月 20 日)	4,914	45	4.3	182,153	8.1	—	97.1	2,261
	92 期(2024 年 10 月 21 日)	4,977	35	2.0	184,592	1.3	—	95.6	2,307
	93 期(2024 年 11 月 20 日)	4,849	40	△ 1.8	182,789	△ 1.0	—	96.8	2,237
	94 期(2024 年 12 月 20 日)	4,542	40	△ 5.5	171,077	△ 6.4	—	94.0	2,157
	95 期(2025 年 1 月 20 日)	4,618	30	2.3	174,564	2.0	—	94.2	2,208
第 17 作 成 期	96 期(2025 年 2 月 20 日)	4,677	30	1.9	173,921	△ 0.4	—	95.4	2,227
	97 期(2025 年 3 月 21 日)	4,374	40	△ 5.6	156,055	△ 10.3	—	95.5	2,077
	98 期(2025 年 4 月 21 日)	4,251	30	△ 2.1	145,915	△ 6.5	—	94.7	2,008
	99 期(2025 年 5 月 20 日)	4,485	35	6.3	162,687	11.5	—	96.0	2,116
	100 期(2025 年 6 月 20 日)	4,591	35	3.1	172,425	6.0	—	93.9	2,153
	101 期(2025 年 7 月 22 日)	4,692	25	2.7	175,769	1.9	—	95.0	2,193
第 18 作 成 期	102 期(2025 年 8 月 20 日)	4,812	25	3.1	182,736	4.0	—	94.5	2,238
	103 期(2025 年 9 月 22 日)	4,855	40	1.7	186,582	2.1	—	95.1	2,244
	104 期(2025 年 10 月 20 日)	4,812	30	△ 0.3	186,131	△ 0.2	—	94.1	2,212
	105 期(2025 年 11 月 20 日)	4,741	22	△ 1.0	180,163	△ 3.2	—	93.4	2,165
	106 期(2025 年 12 月 22 日)	4,835	25	2.5	186,853	3.7	—	91.1	2,250
	107 期(2026 年 1 月 20 日)	4,862	25	1.1	192,877	3.2	—	92.5	2,247
第 19 作 成 期	108 期(2026 年 2 月 20 日)	4,740	25	△ 2.0	188,000	△ 2.5	—	92.9	2,192
	109 期(2026 年 3 月 23 日)	4,370	40	△ 7.0	170,169	△ 9.5	—	95.1	1,984
	110 期(2026 年 4 月 20 日)	4,493	30	3.5	185,599	9.1	—	94.8	2,036
	111 期(2026 年 5 月 20 日)	4,393	30	△ 1.6	185,705	0.1	—	94.6	1,978
	112 期(2026 年 6 月 22 日)	4,536	25	3.8	194,700	4.8	—	94.3	2,035
	113 期(2026 年 7 月 21 日)	4,555	18	0.8	189,520	△ 2.7	—	92.6	2,028
	114 期(2026 年 8 月 20 日)	4,420	16	△ 2.6	184,809	△ 2.5	—	92.6	1,952

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」および「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークとの連動またはそれを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドはベンチマークを設定しておりません。運用報告書は、参考指数として ASX200REIT 指数(円換算指数)を表示しています。円換算指数は委託会社において計算したものです。円換算指数の計算方法は、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の参考指数を営業日前日の為替レートで円換算しています。

◆当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		債 券 組入比率	投資信託証券 組 入 比 率
			騰 落 率	ASX200 REIT 指数 (円換算指数)	騰 落 率		
第109期	(期 首) 2026年 2 月 20 日	円 4,740	% —	188,000	% —	% —	% 92.9
	2 月末	4,743	0.1	187,552	△ 0.2	—	93.5
	(期 末) 2026年 3 月 23 日	4,410	△ 7.0	170,169	△ 9.5	—	95.1
第110期	(期 首) 2026年 3 月 23 日	4,370	—	170,169	—	—	95.1
	3 月末	4,263	△ 2.4	163,649	△ 3.8	—	95.0
	(期 末) 2026年 4 月 20 日	4,523	3.5	185,599	9.1	—	94.8
第111期	(期 首) 2026年 4 月 20 日	4,493	—	185,599	—	—	94.8
	4 月末	4,471	△ 0.5	184,886	△ 0.4	—	94.8
	(期 末) 2026年 5 月 20 日	4,423	△ 1.6	185,705	0.1	—	94.6
第112期	(期 首) 2026年 5 月 20 日	4,393	—	185,705	—	—	94.6
	5 月末	4,449	1.3	188,371	1.4	—	94.7
	(期 末) 2026年 6 月 22 日	4,561	3.8	194,700	4.8	—	94.3
第113期	(期 首) 2026年 6 月 22 日	4,536	—	194,700	—	—	94.3
	6 月末	4,531	△ 0.1	193,301	△ 0.7	—	94.4
	(期 末) 2026年 7 月 21 日	4,573	0.8	189,520	△ 2.7	—	92.6
第114期	(期 首) 2026年 7 月 21 日	4,555	—	189,520	—	—	92.6
	7 月末	4,507	△ 1.1	187,799	△ 0.9	—	92.6
	(期 末) 2026年 8 月 20 日	4,436	△ 2.6	184,809	△ 2.5	—	92.6

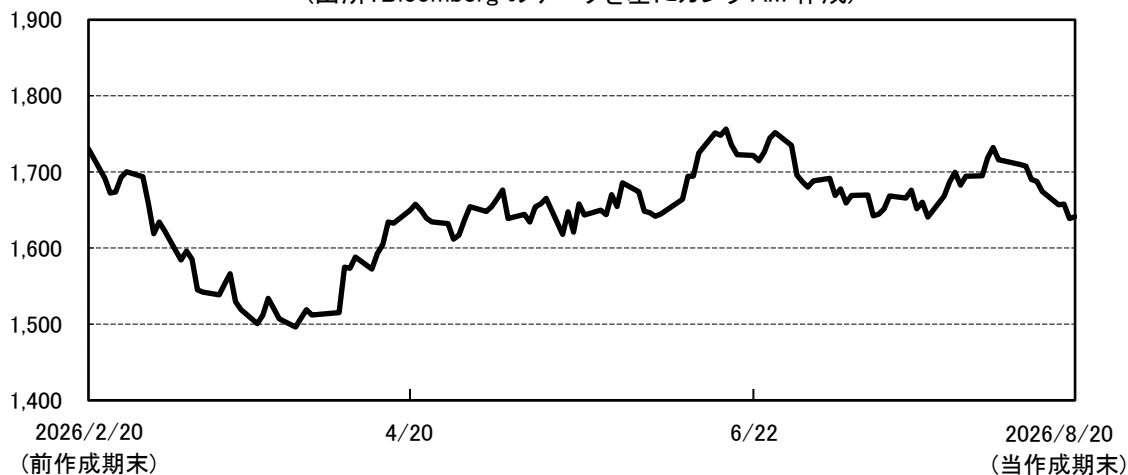
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は各期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」および「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

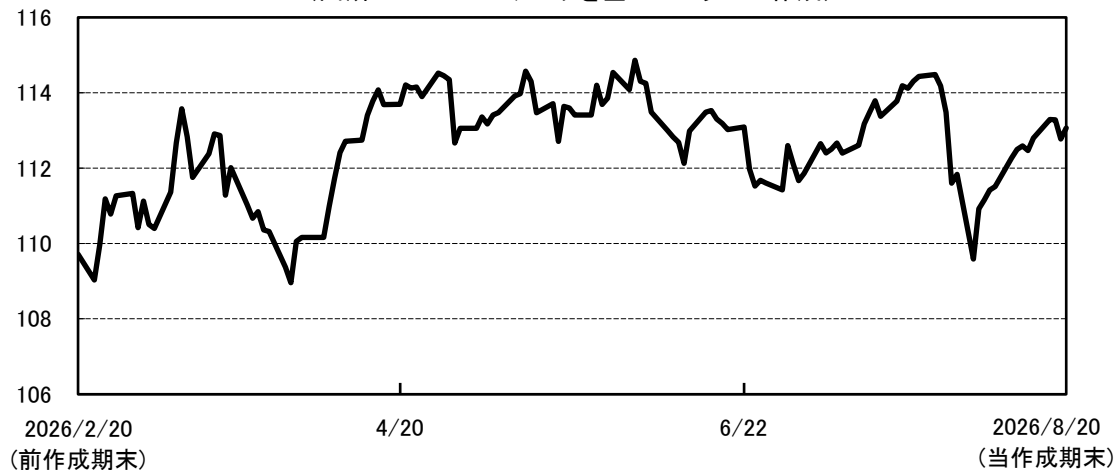
(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークとの運動またはそれを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドはベンチマークを設定しておりません。運用報告書は、参考指数として ASX200REIT 指数 (円換算指数) を表示しています。円換算指数は委託会社において計算したものです。円換算指数の計算方法は、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の参考指数を営業日前日の為替レートで円換算しています。

◆当作成期の運用状況と今後の運用方針(2026年2月21日から2026年8月20日まで)

ASX200 REIT 指数
(出所:Bloomberg のデータを基にカレラ AM 作成)



オーストラリア・ドル/円(ロンドン・フィキシング)
(出所:FactSet のデータを基にカレラ AM 作成)

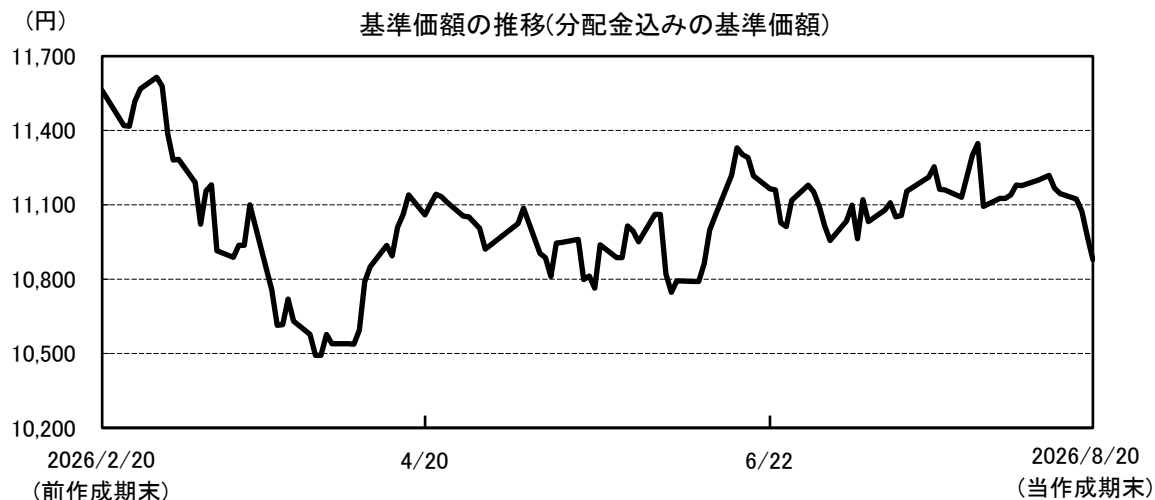


<投資環境>

宇宙関連株や AI 半導体株を中心に、世界の株式マーケットは堅調な展開となりましたが、イラン情勢を背景にしたインフレ懸念から金利が上昇傾向となり、その影響を受けて、オーストラリアのリート市場は軟調に推移しました。一方、為替市場では、オーストラリア・ドル／円(ロンドン・フィキシング)は第 108 期末比で 3.1%のオーストラリア・ドル高／円安の 112.77 円となりました。

<投資状況と今後の投資方針>

・投資状況



当該外国投資信託に投資することにより、オーストラリアリートを組入れ、同時に保有のオーストラリアリートとオーストラリア・ドル／円についてコールオプションの売却を行いました。

第 114 期末時点の当該外国投資信託の組入比率は 92.6%となり、当ファンドの基準価額(分配金落ち後)は 4,420 円となりました。第 109 期から第 114 期の 1 万口当たり分配金(税込み)は計 159 円となりました。

・ 今後の投資方針

オーストラリアの長期持続的な成長と堅調な景気拡大に沿ったオーストラリアリート の成長とオーストラリアドルの対円上昇に期待して、投資対象とする外国投資信託の組入を高位に維持し、カバードコール戦略を実践することにより毎月決算の分配金原資の確保に努めます。

・ 分配金の決定根拠及び留保金の今後の運用方針

分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の金額とし、決算時に、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定しております。留保益の運用については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

<分配原資の内訳>

(単位：円・％、1 万口当たり、税引前)

決 算 期	第 109 期 (2026 年 2 月 21 日～ 2026 年 3 月 23 日)	第 110 期 (2026 年 3 月 24 日～ 2026 年 4 月 20 日)	第 111 期 (2026 年 4 月 21 日～ 2026 年 5 月 20 日)	第 112 期 (2026 年 5 月 21 日～ 2026 年 6 月 22 日)	第 113 期 (2026 年 6 月 23 日～ 2026 年 7 月 21 日)	第 114 期 (2026 年 7 月 22 日～ 2026 年 8 月 20 日)
当期分配金 (対基準価額比率)	40	30	30	25	18	16
	0.907	0.663	0.678	0.548	0.394	0.361
当期の収益	40	30	30	25	18	16
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	7,298	7,350	7,396	7,445	7,480	7,507

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◆1 万口 (元本 10,000 円) 当たりの費用の明細

項 目	当 作 成 期 (2026年2月21日～2026年8月20日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
平 均 基 準 価 額	4,494円	—	作成期中の平均基準価額です。
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	34円 (7) (26) (1)	0.752% (0.147) (0.589) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 資金の運用指図等の対価 購入後の情報提供等の対価、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (印 刷) (そ の 他 1)	3 (0) (2) (0)	0.067 (0.006) (0.049) (0.011)	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 ・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・ 法定目論見書、有価証券届出書、有価証券報告書、運用報告書等の作成、印刷、交付および提供等または提出に係る費用 ・ 証券投資信託管理事務の委託に係る手数料
合 計	37円	0.819%	

(注1) 作成期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます。)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

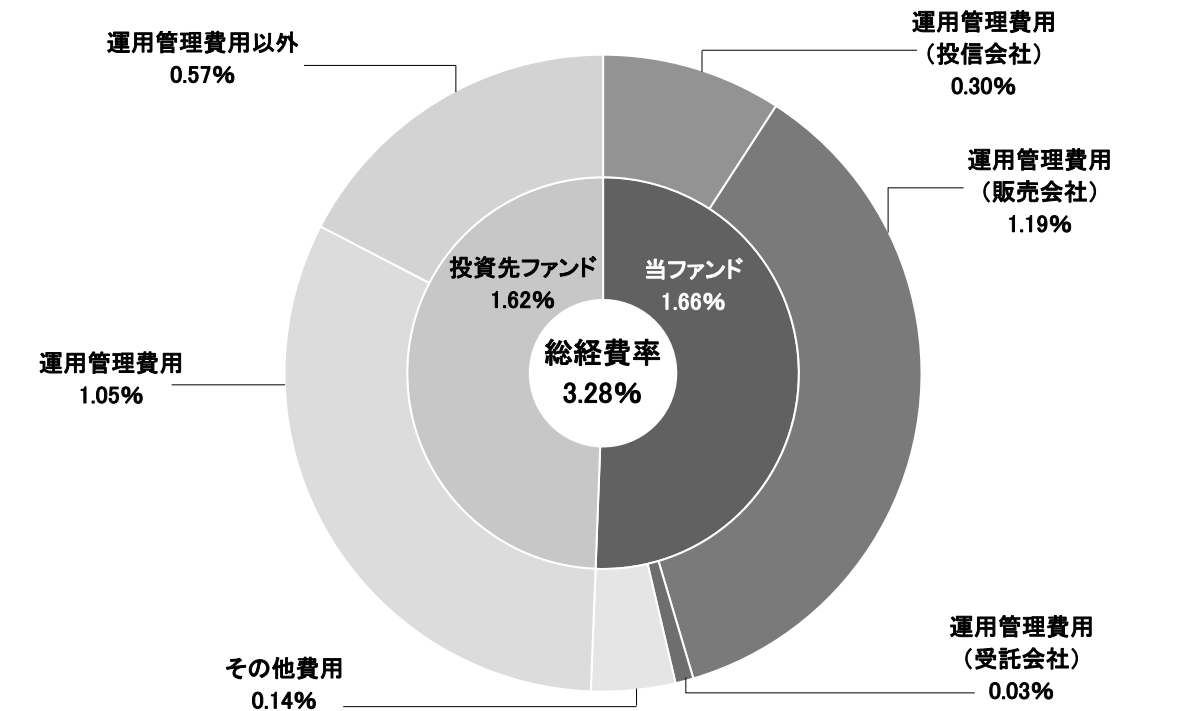
(注3) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

・総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した**総経費率(年率)**は**3.28%**です。



総経費率(①+②+③)	3.28%
①当ファンドの費用の比率	1.66%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.05%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.57%

(注 1) ①の費用は、1 万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注 2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
(注 3) 各比率は、年率換算した値です。
(注 4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。
(注 5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注 6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注 7) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◆親投資信託受益証券の設定、解約状況(2026年2月21日から2026年8月20日まで)

当作成期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

決 算 期			第 109 期 ～ 第 114 期			
			設 定		解 約	
			口 数	金 額	口 数	金 額
カレラ マネープール マザーファンド			千口 －	千円 －	千口 －	千円 －

(注) 単位未満は切り捨て。

◆当作成期中の売買および取引の状況(2026年2月21日から2026年8月20日まで)

投資信託受益証券、投資証券

決 算 期			第 109 期 ～ 第 114 期			
			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	邦 貨 建	UBS・オーストラリアリート・ストラテジーファンド	口 178,206	千円 216,611	口 139,483	千円 170,000

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

◆利害関係人との取引状況等(2026年2月21日から2026年8月20日まで)

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人をいいます。

◆組入資産の明細(2026年8月20日現在)

(1) 邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 作 成 期 末 (第 114 期 末)		
	口 数	評 価 額	比 率
UBS・オーストラリアリート・ストラテジーファンド	口 1,536,869	千円 1,808,188	% 92.6
合 計	1,536,869	1,808,188	92.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	前作成期末(第108期末)		当 作 成 期 末 (第 114 期 末)	
	口 数		口 数	評 価 額
カレラ マネープール マザーファンド	千口 4,700		千口 4,700	千円 4,694

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

＜参考情報＞

下記は、当ファンドが組入れているカレラ マネープール マザーファンド全体(4,700千口)の内容です。

当作成期中における該当事項はありません。

親投資信託における主要な売買銘柄(2026年2月21日から2026年8月20日まで)

公社債

第 109 期 ～ 第 114 期			
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
—	千円 —	—	千円 —

(注1) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 国内の現先取引によるものは含まれていません。

(注3) 単位未満は切り捨てています。

親投資信託の組入資産の明細(2026年8月20日現在)

国内(邦貨建)公社債

区 分	当 作 成 期 末 (第 114 期 末)						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国 債 証 券	千円 —	千円 —	% —	% —	% —	% —	% —
	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
合 計	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)

(注1) ()内は非上場債で内書きです。

(注2) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) 一印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注6) 残存期間が1年以内の公社債は原則としてアキュムレーションまたはアモチゼーションにより評価しています。

下記は、当ファンドが組入れている UBS・オーストラリアリート・ストラテジーファンドの組入銘柄です。

外国投資信託受益証券

銘柄名	比率
ストックランド	9.8%
グッドマン・グループ	8.8%
ミルバック・グループ	8.6%
チャーター・ホール・グループ	8.6%
ビシニティ・センターズ	8.5%
GPT グループ	8.5%
センターグループ	8.2%
デクサス・プロパティ・グループ	7.4%
リージョングループ	3.1%
チャーター・ホール・ロングウェイル REIT	2.8%
BWP トラスト	2.7%
HOMEKO DAILY NEEDS REIT	2.6%
チャーター・ホール・リテール	2.4%
インゲニア・コミュニティーズ・グループ	2.0%
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	1.9%
WAYPOINT REIT	1.8%
CENTURIA CAPITAL GROUP	1.5%
ARENA REIT	1.1%

(注1) データは2026年8月19日(現地時間)のもので、当ファンドでは2026年8月20日の基準価額に反映されます。

(注2) 外国投資信託受益証券の比率は、当ファンドの純資産額に対する評価額の割合です。

※ 本運用報告書は、当ファンド(オーストラリアリートファンド)の純資産額に基づいて計算しています。

◆投資信託財産の構成

(2026年8月20日現在)

項 目	当 作 成 期 末 (第 114 期 末)	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	1,808,188	91.8
カレラ マネープール マザーファンド	4,694	0.2
預 金 、 金 銭 信 託 等 、 そ の 他	156,641	8.0
投 資 信 託 財 産 総 額	1,969,523	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

◆資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年3月23日)、 (2026年4月20日)、 (2026年5月20日)、 (2026年6月22日)、 (2026年7月21日)、 (2026年8月20日)現在

項 目	第 109 期末	第 110 期末	第 111 期末	第 112 期末	第 113 期末	第 114 期末
(A) 資 産	2,018,240,811円	2,054,799,408円	2,000,395,267円	2,053,324,897円	2,040,580,682円	1,969,523,705円
預 金 、 金 銭 信 託 等	125,256,843	89,999,795	94,578,668	99,246,412	97,396,486	136,638,315
投資信託受益証券(評価額)	1,888,299,803	1,930,114,521	1,871,129,093	1,919,388,355	1,878,491,284	1,808,188,382
カレラ マネープール マザーファンド(評価額)	4,682,450	4,683,860	4,686,211	4,688,091	4,690,911	4,694,201
未 収 入 金	-	30,000,000	30,000,000	30,000,000	60,000,000	20,000,000
未 収 利 息	1,715	1,232	1,295	2,039	2,001	2,807
(B) 負 債	33,419,435	18,027,957	21,683,404	17,736,113	12,202,955	17,370,135
未 払 収 益 分 配 金	18,167,910	13,599,694	13,512,492	11,219,685	8,014,682	7,066,593
未 払 解 約 金	12,290,690	1,900,860	5,423,492	3,533,217	1,538,637	7,566,322
未 払 信 託 報 酬	2,732,049	2,304,812	2,521,684	2,754,107	2,425,299	2,511,631
そ の 他 未 払 費 用	228,786	222,591	225,736	229,104	224,337	225,589
(C) 純資産総額(A-B)	1,984,821,376	2,036,771,451	1,978,711,863	2,035,588,784	2,028,377,727	1,952,153,570
元 本	4,541,977,508	4,533,231,566	4,504,164,175	4,487,874,198	4,452,601,453	4,416,620,783
次 期 繰 越 損 益 金	△ 2,557,156,132	△ 2,496,460,115	△ 2,525,452,312	△ 2,452,285,414	△ 2,424,223,726	△ 2,464,467,213
(D) 受 益 権 総 口 数	4,541,977,508口	4,533,231,566口	4,504,164,175口	4,487,874,198口	4,452,601,453口	4,416,620,783口
1万口当たり基準価額(C/D)	4.370円	4.493円	4.393円	4.536円	4.555円	4.420円

(注1) 当ファンドの第109期首元本額は4,626,186,952円、第109～114期中追加設定元本額は34,281,445円、第109～114期中一部解約元本額は243,847,614円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第109期末0.4370円、第110期末0.4493円、第111期末0.4393円、第112期末0.4536円、第113期末0.4555円、第114期末0.4420円です。

(注3) 元本の欠損
当作成期末において貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は2,464,467,213円です。

◆損益の状況

第109期（自2026年2月21日至2026年3月23日）、第112期（自2026年5月21日至2026年6月22日）
 第110期（自2026年3月24日至2026年4月20日）、第113期（自2026年6月23日至2026年7月21日）
 第111期（自2026年4月21日至2026年5月20日）、第114期（自2026年7月22日至2026年8月20日）

項 目	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
(A) 配 当 等 収 益	57,840,996円	38,534,466円	37,073,597円	34,250,840円	26,479,835円	21,472,037円
受 取 配 当 金	57,781,061	38,498,734	37,032,097	34,201,900	26,415,932	21,385,204
受 取 利 息	59,935	35,732	41,500	48,940	63,903	86,833
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 204,982,834	33,352,664	△ 65,856,187	43,879,602	△ 7,075,498	△ 71,548,649
売 買 益	1,839,382	33,354,416	385,358	44,012,467	386,348	252,968
売 買 損	△ 206,822,216	△ 1,752	△ 66,241,545	△ 132,865	△ 7,461,846	△ 71,801,617
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,960,835	△ 2,527,403	△ 2,747,420	△ 2,983,211	△ 2,649,636	△ 2,737,220
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 150,102,673	69,359,727	△ 31,530,010	75,147,231	16,754,701	△ 52,813,832
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 1,442,812,184	△ 1,605,886,270	△ 1,536,611,405	△ 1,571,082,524	△ 1,494,694,890	△ 1,473,552,953
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 946,073,365	△ 946,333,878	△ 943,798,405	△ 945,130,436	△ 938,268,855	△ 931,033,835
(配 当 等 相 当 額)	(877,608,601)	(879,067,873)	(879,011,592)	(883,331,887)	(877,313,211)	(870,796,421)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 1,823,681,966)	(△ 1,825,401,751)	(△ 1,822,809,997)	(△ 1,828,462,323)	(△ 1,815,582,066)	(△ 1,801,830,256)
(G) 計 (D+E+F)	△ 2,538,988,222	△ 2,482,860,421	△ 2,511,939,820	△ 2,441,065,729	△ 2,416,209,044	△ 2,457,400,620
(H) 収 益 分 配 金	△ 18,167,910	△ 13,599,694	△ 13,512,492	△ 11,219,685	△ 8,014,682	△ 7,066,593
次期繰越損益金(G+H)	△ 2,557,156,132	△ 2,496,460,115	△ 2,525,452,312	△ 2,452,285,414	△ 2,424,223,726	△ 2,464,467,213
追加信託差損益金	△ 946,073,365	△ 946,333,878	△ 943,798,405	△ 945,130,436	△ 938,268,855	△ 931,033,835
(配 当 等 相 当 額)	(877,608,601)	(879,067,873)	(879,011,592)	(883,331,887)	(877,313,211)	(870,796,421)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 1,823,681,966)	(△ 1,825,401,751)	(△ 1,822,809,997)	(△ 1,828,462,323)	(△ 1,815,582,066)	(△ 1,801,830,256)
分配準備積立金	2,437,155,812	2,452,921,005	2,452,481,243	2,457,913,234	2,453,536,366	2,444,856,428
繰 越 損 益 金	△ 4,048,238,579	△ 4,003,047,242	△ 4,034,135,150	△ 3,965,068,212	△ 3,939,491,237	△ 3,978,289,806

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
 (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注4) 第109期計算期間末における費用控除後の配当等収益(54,882,140円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(877,608,601円)および分配準備積立金(2,400,441,582円)より分配対象収益は3,332,932,323円(10,000口当たり7,338円)であり、うち18,167,910円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。
 (注5) 第110期計算期間末における費用控除後の配当等収益(37,181,324円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(879,067,873円)および分配準備積立金(2,429,339,375円)より分配対象収益は3,345,588,572円(10,000口当たり7,380円)であり、うち13,599,694円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。
 (注6) 第111期計算期間末における費用控除後の配当等収益(34,328,102円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(879,011,592円)および分配準備積立金(2,431,665,633円)より分配対象収益は3,345,005,327円(10,000口当たり7,426円)であり、うち13,512,492円(10,000口当たり30円)を分配金額としております。
 (注7) 第112期計算期間末における費用控除後の配当等収益(32,945,314円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(883,331,887円)および分配準備積立金(2,436,187,605円)より分配対象収益は3,352,464,806円(10,000口当たり7,470円)であり、うち11,219,685円(10,000口当たり25円)を分配金額としております。
 (注8) 第113期計算期間末における費用控除後の配当等収益(23,832,997円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(877,313,211円)および分配準備積立金(2,437,718,051円)より分配対象収益は3,338,864,259円(10,000口当たり7,498円)であり、うち8,014,682円(10,000口当たり18円)を分配金額としております。
 (注9) 第114期計算期間末における費用控除後の配当等収益(18,737,703円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(870,796,421円)および分配準備積立金(2,433,185,318円)より分配対象収益は3,322,719,442円(10,000口当たり7,523円)であり、うち7,066,593円(10,000口当たり16円)を分配金額としております。

◆分配金のお知らせ

決算期	第 109 期	第 110 期	第 111 期	第 112 期	第 113 期	第 114 期
1 万口当たり分配金 (税引前)	40 円	30 円	30 円	25 円	18 円	16 円

◆お知らせ

約款変更のお知らせ

当ファンドの信託期間は 2027 年 2 月 22 日までとなっておりましたが、信託期間を 10 年延長し、信託期間終了日を 2037 年 2 月 20 日とする約款変更を行いました。

注記事項(当運用報告書作成時点では監査未了です。)

安藤証券からのお知らせ

安藤証券は、私たちに共通で身近な文化であるスポーツの振興や発展を応援し、社会に貢献できることを願います。そのために、安藤証券は、当ファンドの取扱いにより得られた信託報酬の一部を、プロテニスプレイヤーの強化、同コーチやトレーナーのサポート、さらには将来日本のテニス競技を担う子供たちの育成を目的として、直接にまたは関連する法人、団体、協会などを通して支援いたします。

- ※ 支援の金額、方法等については安藤証券が決定することとし、状況に応じて変更される場合もあります。
- ※ 支援の対象となる選手、コーチ等や関連する法人、団体、協会などは、当ファンドの販売または運用等には関与いたしません。

安藤証券は、当ファンドの取扱いにより得られた信託報酬の一部について、公益財団法人日本テニス協会に対して強化育成プロジェクト（特別強化活動全般）を目的とした特定寄附を行うとともに、複数のテニスプレイヤーの強化と同コーチをサポートするために所属や契約をとおして、また、一般社団法人東京都テニス協会が主催する「ITF 女子ワールドテニスツアー」の特別協賛をとおして支援を行いました。（安藤証券が行った支援の例です。）

<参考情報：投資先のファンドの概要>

フ ァ ン ド 名	UBS・オーストラリアリート・ストラテジーファンド
形 態 等	ケイマン籍／外国投資信託受益証券／円建
運 用 の 基 本 方 針 主 な 投 資 対 象	主としてオーストラリアの金融商品取引所に上場している不動産投資信託受益証券(リート)等(以下「オーストラリアリート」といいます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 また、スワップ取引を通じて、実質的にオーストラリアリートのオプション取引(コールオプションの売却)および通貨オプション取引(オーストラリアドル対円コールオプションの売却)の損益に連動する投資成果を享受します。
投 資 態 度 (運 用 方 針)	〔オーストラリアリート投資〕 1. 主としてオーストラリアの金融商品取引所に上場している不動産投資信託受益証券(リート)等(以下「オーストラリアリート」といいます。)に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 2. オーストラリアリートの投資にあたっては、S&P/ASX 200 A-REIT 指数の採用銘柄を参照して、運用を行います。ただし、当ファンドのパフォーマンスは、同一銘柄の不動産投資信託受益証券(リート)への投資割合は、当ファンドの純資産総額の10%以下とする投資制限およびスワップ取引の損益等の影響により、当該指数に直接連動することを目指したものではありません。 〔オーストラリアリートのコールオプションに関するスワップ取引〕 1. スワップ取引を通じて、実質的に当ファンドが保有するオーストラリアリートを対象としたオプション取引(コールオプションの売却)の損益に連動する投資成果を享受します。 2. 当該スワップ取引の想定元本の額は、取得時において当ファンドが保有するオーストラリアリート評価額の概ね60%を上限とします。 〔通貨コールオプションに関するスワップ取引〕 1. スワップ取引を通じて、実質的にオーストラリアドル対円を対象としたオプション取引(コールオプションの売却)の損益に連動する投資成果を享受します。 2. 当該スワップ取引の想定元本の額は、取得時において当ファンドが保有するオーストラリアドル建資産総額の概ね50%を上限とします。 ※資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
主 な 投 資 制 限	1. 不動産投資信託受益証券(リート)への投資割合には、制限を設けません。 2. 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 3. 同一銘柄の不動産投資信託受益証券(リート)への投資割合は、当ファンドの純資産総額の10%以下とします。
設 定 日	2017年3月1日
信 託 期 間	無期限(信託設定日：2017年3月1日)
決 算 日	毎年2月末日
フ ァ ン ド 休 業 日	オーストラリア、イギリスまたはアイルランドの証券取引所または銀行のいずれかの休業日
分 配 方 針	原則として、毎月分配を行い、再投資します。(分配金再投資型)
購 入 時 手 数 料 換 金 時 手 数 料 信 託 財 産 留 保 額	ありません。

運用管理費用 (信託報酬等)	純資産総額に対して、年率 0.527%程度 ※上記料率には、管理会社・投資顧問会社、管理事務代行会社、保管銀行、スワップ取引相手方への報酬が含まれます。ただし、管理事務代行会社と保管銀行への報酬は最低年間報酬額(管理事務代行会社は 70,000 米ドル、保管銀行は 10,000 米ドル)が定められており、純資産総額によっては年率換算で上記信託報酬率を上回る場合があります。また、受託会社への報酬(固定報酬として年額 15,000 米ドル)が別途かかります。
その他の費用・手数料等	S&P/ASX 200 A-REIT 指数に関わるライセンス料として、純資産総額に対して年率 0.02%(ただし、最低年間ライセンス料 7,500 米ドル)の費用を信託財産から支払いします。また別途、信託財産に関する租税、組入有価証券の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する費用、信託財産の監査に要する費用、投資信託証券のファンド設立に係る費用、法律関係の費用、外貨建資産の保管などに要する費用、その他の費用・手数料等を信託財産から支払いします。なお、これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限等を表示することができません。また、手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
主な関係法人	管 理 会 社 : UBS マネジメント (ケイマン) リミテッド※¹ 投 資 顧 問 会 社 : UBS アセットマネジメント (UK) リミテッド※² 受 託 会 社 : エリアン・トラスティー (ケイマン) リミテッド 管 理 事 務 代 行 会 社 : ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン 副 管 理 事 務 代 行 会 社 : ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン (シンガポール支店) 保 管 銀 行 : ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン スワップ取引相手方 : UBS 銀行ロンドン支店 ※¹ 2025 年 11 月 20 日より UBS マネジメント (ケイマン) リミテッドに管理会社に変更になりました。 ※² UBS アセットマネジメント (UK) リミテッドが投資顧問会社として 2023 年 1 月 27 日から加わりました。

<参考情報>

以下は、「UBS・オーストラリアリート・ストラテジーファンド」の2025年2月末現在の財務諸表のうち、同ファンドにかかる部分を、委託会社において抜粋し、その原文を翻訳したものです。

(1) 財政状態計算書(2025年2月末現在)

	2025年2月28日 日本円	2024年2月29日 日本円
資産		
流動資産		
損益を通じて公正価値で測定される	1,928,504,879	2,028,845,497
金融資産		
現金及び現金同等物	93,770,362	103,989,738
担保として差入れた現金	19,679,505	32,160,608
未収配当金	7,083,120	7,441,740
前払費用	1,979,625	1,922,384
資産合計	2,051,017,491	2,174,359,967
資本		
シリーズトラストの株式保有者に帰属する資本金及び剰余金		
資本金	2,026,827,114	2,130,898,149
資本合計	2,026,827,114	2,130,898,149
負債		
流動負債		
損益を通じて公正価値で測定される金融負債	—	1,484,326
ブローカーに対する債務	12,961,996	29,479,671
未払費用	11,228,381	12,497,821
負債合計	24,190,377	43,461,818
資本及び負債合計	2,051,017,491	2,174,359,967

(2) 包括利益計算書(2025 年 2 月末現在)

	2025 年 2 月 28 日 終了会計年度 日本円	2024 年 2 月 29 日 終了会計年度 日本円
収益		
配当収入	99,197,990	104,365,632
利息収入	409,255	527,049
純外国為替差(損)/益	(6,870,873)	6,422,884
損益を通じて公正価値で測定される金融資産及び 金融負債に係る公正価値のその他の純変動額	21,445,533	7,498,275
純投資利益	114,181,905	118,813,840
費用		
支払利息	19,240	235,371
受託報酬	2,315,055	2,178,967
事務管理報酬	13,798,718	13,022,687
保管報酬	3,233,979	3,307,148
投資運用報酬	3,616,633	3,504,466
管理報酬	2,127,420	2,061,458
取引手数料	96,869	119,016
担保代理人手数料	715,850	654,693
スワップ関連手数料	4,148,474	4,019,812
インデックス手数料	1,131,135	1,217,574
その他の営業費用	4,738,402	4,578,480
営業費用合計	35,941,775	34,899,672
税引前利益	78,240,130	83,914,168
源泉税	(12,311,165)	(15,194,423)
税引後利益	65,928,965	68,719,745
包括利益合計	65,928,965	68,719,745

(3) 持分変動計算書(2025 年 2 月末現在)

	資本金 日本円	利益剰余金 日本円	資本合計 日本円
2023 年 2 月 28 日現在	2, 242, 178, 404	—	2, 242, 178, 404
当会計期間包括利益合計	—	68, 719, 745	68, 719, 745
受益者への分配金	(494, 243, 002)	(68, 719, 745)	(562, 962, 747)
受益証券の発行額	562, 962, 747	—	562, 962, 747
受益証券の買戻し額	(180, 000, 000)	—	(180, 000, 000)
2024 年 2 月 29 日現在	2, 130, 898, 149	—	2, 130, 898, 149
当会計期間包括利益合計	—	65, 928, 965	65, 928, 965
受益者への分配金	(494, 439, 775)	(65, 928, 965)	(560, 368, 740)
受益証券の発行額	560, 368, 740	—	560, 368, 740
受益証券の買戻し額	(170, 000, 000)	—	(170, 000, 000)
2025 年 2 月 28 日現在	2, 026, 827, 114	—	2, 026, 827, 114

(4) 投資有価証券明細表(2025 年 2 月末現在)

以下の表は、2025 年 2 月 28 日時点におけるシリーズトラストにより保有されている投資有価証券の集中の状況を示している。

	公正価値 日本円	公正価値で評価された 純資産に対する 割合(%)
2025 年 2 月 28 日		
金融資産		
上場株式	1, 913, 488, 849	94. 41
株式売建コールオプション・スワップへの投資	11, 289, 690	0. 56
外国為替売建コールオプション・スワップへの投資	3, 726, 340	0. 18
	1, 928, 504, 879	95. 15

以下の表は、2024 年 2 月 29 日時点におけるシリーズトラストにより保有されている投資の集中の状況を示している。

	公正価値 日本円	公正価値で評価された 純資産に対する 割合(%)
2024 年 2 月 29 日		
金融資産		
上場株式	2, 026, 085, 174	95. 08
外国為替売建コールオプション・スワップへの投資	2, 760, 323	0. 13
	2, 028, 845, 497	95. 21
金融負債		
株式売建コールオプション・スワップへの投資	(1, 484, 326)	(0. 07)
	(1, 484, 326)	(0. 07)

市場価格が 5%(2024 年: 5%) 上昇した場合、買戻し可能受益証券の保有者に帰属するシリーズトラストの純資産は 79, 121, 837 円(2024 年: 72, 485, 389 円)増加する。一方、市場価格が 5%(2024 年: 5%) 下落した場合、買戻し可能受益証券の保有者に帰属するシリーズトラストの純資産は 83, 935, 678 円(2024 年: 76, 108, 863 円)減少する。

管理会社は、売建コールオプション・スワップと上場株式への投資に係わる集中リスクを日々監視している。シリーズトラストの売建コールオプション・スワップと上場株式は、以下の業種に集中している。

保管銀行およびカウンターパーティへのエクスポージャーは、財政状態計算書日現在における保有投資有価証券のそれぞれ 99.22% (2024 年：99.94%) および 0.78% (2024 年：0.06%) であった。

	2025年2月28日 投資額に占める割合 (%)	2024年2月29日 投資額に占める割合 (%)
上場株式への投資		
不動産	99.22	99.94
売建コールオプション・スワップへの投資		
その他	0.78	0.06
	<u>100.00</u>	<u>100.00</u>

以下の表は、売建コールオプション・スワップにおける業種の集中を示している。

	想定元本 日本円 2025 年	公正価値 日本円 2025 年	想定元本 日本円 2024 年	公正価値 日本円 2024 年
株式コールオプション ・スワップ				
不動産	1,175,481,734	11,289,690	1,209,142,325	(1,484,326)
外国為替コール オプション・スワップ	990,129,136	3,726,340	1,014,445,180	2,760,323
	<u>2,165,610,870</u>	<u>15,016,030</u>	<u>2,223,587,505</u>	<u>1,275,997</u>

2025 年 2 月 28 日現在、以下の上場株式の各発行体に対するエクスポージャーは買戻し可能受益証券の保有者に帰属する純資産の 5%を超えていた。

上場投資有価証券

Goodman Group
Scentre Group
Stockland
Mirvac Group
GPT Group
Dexus
Vicinity Centres
Charter Hall Group

2025 年 2 月 28 日
純資産に占める割合 (%)

8.58
8.75
9.40
8.61
9.30
8.29
8.89
8.52

上場投資有価証券

Goodman Group
Scentre Group
Stockland
Mirvac Group
GPT Group
Dexus
Vicinity Centres
Charter Hall Group

2024 年 2 月 29 日
純資産に占める割合 (%)

9.65
9.35
9.04
9.03
9.02
8.57
8.12
6.41

カレラ マネープール マザーファンド

運用報告書(全体版)

第 24 期（決算日：2026 年 6 月 15 日）

（計算期間：2025 年 12 月 16 日～2026 年 6 月 15 日）

受益者のみなさまへ

「カレラ マネープール マザーファンド」は、「3つの財布 欧州銀行株式ファンド(毎月分配型)」、「3つの財布 欧州不動産関連株ファンド(毎月分配型)」、「3つの財布 米国銀行株式ファンド(毎月分配型)」、「3つの財布 欧州リートファンド」、「テキサス州株式ファンド」および「オーストラリアリートファンド(毎月分配型)」が投資対象とするマザーファンドで、信託財産の実質的な運用を行っております。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第 24 期の運用状況をご報告申し上げます。

●当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

主 な 運 用 方 針	この投資信託は、安定した収益の確保を目指して安定運用を行います。
主 要 投 資 対 象	わが国の公社債を主要投資対象とします。
主 な 投 資 制 限	1. 同一法人等が発行したもしくは取り扱う投資対象資産（国債等を除きます。）への投資（現先取引による投資を除きます。）の合計額は、信託財産の純資産総額の 5%以下とします。 2. 同一法人等を相手方とする取引期間が 5 営業日以内のコール・ローンでの運用は、上記①の規定を適用しません。 3. 株式への投資は、転換社債の転換請求および新株予約権(新株予約権付社債のうち会社法第 236 条第 1 項第 3 号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの(以下、会社法施行前の旧商法第 341 条ノ 3 第 1 項第 7 号および第 8 号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。))の新株予約権に限り、)の行使により取得した株券に限り、信託財産の純資産総額の 5%以下とします。 4. 外貨建資産への投資は行いません。 5. 有価証券先物取引等は、約款第 18 条の範囲内で行います。 6. スワップ取引は、約款第 19 条の範囲内で行います。 7. 一般社団法人資産運用業協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ 10%、合計で 20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、一般社団法人資産運用業協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行います。

◆最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 券 組入比率	債 券 先物比率	純 資 産
		期 中 騰 落 率			
	円	%	%	%	百万円
20 期(2024 年 6 月 17 日)	9,922	△0.0	—	—	51
21 期(2024 年 12 月 16 日)	9,926	0.0	—	—	51
22 期(2025 年 6 月 16 日)	9,936	0.1	—	—	51
23 期(2025 年 12 月 15 日)	9,949	0.1	—	—	51
24 期(2026 年 6 月 15 日)	9,973	0.2	—	—	51

(注1) 債券先物比率は買建比率－売建比率。
(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークとの連動またはそれを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

◆当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 券 組入比率	債 券 先物比率
		騰 落 率		
(期 首)	円	%	%	%
2025 年 12 月 15 日	9,949	—	—	—
12 月末	9,950	0.0	—	—
2026 年 1 月末	9,955	0.1	—	—
2 月末	9,958	0.1	—	—
3 月末	9,963	0.1	—	—
4 月末	9,967	0.2	—	—
5 月末	9,971	0.2	—	—
(期 末)				
2026 年 6 月 15 日	9,973	0.2	—	—

(注1) 騰落率は期首比です。
(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。
(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークとの連動またはそれを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

◆当期の運用状況と今後の運用方針(2025年12月16日～2026年6月15日まで)

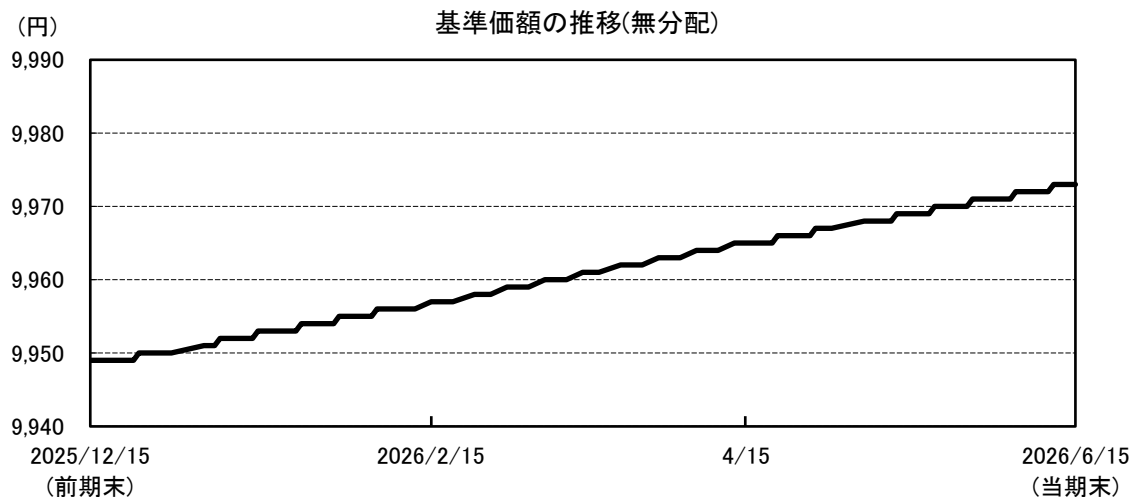
＜経済・金融市場の動向＞

高市政権による財政拡張への警戒、日銀の追加利上げ観測や世界の地政学的リスクを背景とするインフレ懸念の高まり等を背景に上昇基調となりました。

当期末時点の日本国債10年物利回りは2.582%、日本国庫短期証券6ヶ月物の利回りは1.001%となりました。

＜運用状況と今後の運用方針＞

・運用状況



当該期間中、特約付指定金銭信託、コール・ローン等で運用しました。

当期末の基準価額は9,973円となりました。

・ 今後の運用方針

今後の投資方針として、主としてわが国の公社債等に投資し、安定した収益の確保を図るとともに、常時適正な流動性を保持するよう配慮しながら、資金動向、市況動向等を勘案して、投資する方針です。

◆1 万口 (元本 10,000 円) 当たりの費用明細

該当事項はありません。

◆利害関係人との取引状況等 (2025 年 12 月 16 日～2026 年 6 月 15 日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第 11 条第 1 項に規定される利害関係人です。

◆組入資産の明細 (2026 年 6 月 15 日現在)

該当事項はありません。

◆投資信託財産の構成

(2026年6月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
預 金 、 金 銭 信 託 等 、 そ の 他	51,830	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	51,830	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

◆資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年6月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	51,830,945円
預 金 、 金 銭 信 託 等	51,830,235
未 収 利 息	710
(B) 純 資 産 総 額 (A)	51,830,945
元 本	51,970,693
次 期 繰 越 損 益 金	△ 139,748
(C) 受 益 権 総 口 数	51,970,693口
1万口当たり基準価額 (B / C)	9,973円

- (注1) 期首元本額 51,970,693円
期中追加設定元本額 0円
期中一部解約元本額 0円
(注2) 1口当たり純資産額 0.9973円
(注3) 元本の欠損
当期末において貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は139,748円です。
(注4) 期末における元本の内訳
3つの財布 欧州銀行株式ファンド(毎月分配型) 13,977,022円
3つの財布 欧州リートファンド 11,051,457円
3つの財布 欧州不動産関連株ファンド(毎月分配型) 9,971,025円
3つの財布 米国銀行株式ファンド(毎月分配型) 9,971,025円
オーストラリアリートファンド (毎月分配型) 4,700,312円
テキサス州株式ファンド 2,299,852円

◆損益の状況

当期(自2025年12月16日 至2026年6月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	126,855円
受 取 利 息	126,855
(B) 当 期 損 益 金 (A)	126,855
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 266,603
(D) 計 (B + C)	△ 139,748
次 期 繰 越 損 益 金 (D)	△ 139,748

注記事項(当運用報告書作成時点では監査未了です。)